

松永K三蔵さんに 文化芸術特別賞を贈呈

市は、市内在住の松永K三蔵さんに、西宮市文化芸術特別賞を贈呈しました。同賞は文化芸術の分野で市政の発展や市のイメージアップなどに特別に貢献した人または団体に贈られるものです。松永さんは、著書の「バリ山行(さんこう)」で第171回芥川龍之介賞を受賞する快挙を成し遂げました。今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。



問 秘書課 (0798・35・3432)

子供の病気・けがで集団生活が困難な場合

病児保育利用できます



市は、病気やけがなどにより保育所等での集団生活が困難な子供を一時的に預かる、病児保育事業を実施しています。事前に利用登録・予約が必要です。利用方法や必要書類など詳しくは、市のホームページ(HP 47199357)でご確認ください。

- 対象** 生後6カ月～小学生(事前に医療機関を受診)
- 利用料** 1日2000円(生活保護を受給している世帯は減免制度あり) ※給食あり(500円。弁当持参可)
- 開所日** 月曜～金曜の午前8時～午後6時、土曜の午前8時～午後1時 ※日曜、祝・休日、12月29日～1月3日は休み
- 利用方法** 病児保育ネット予約サービス「あずかるこちゃん」でアカウント作成と施設利用登録を行い予約



登録はこちら

病児保育室(ルーム)一覧

- つばみの子保育園 病児保育ルーム(林田町)
- 西宮回生病院 病児保育室(大浜町)
- ニコニコ桜今津灯保育園 病児保育ルーム(今津水波町)
- 高須の森 病児保育ルーム(高須町1丁目)

訪問型病児・病後児保育利用料金助成制度

全国保育サービス協会加盟事業者等が実施する在宅の病児・病後児保育サービスを利用した場合、保育利用料の半額を助成します(入会金や年会費等は対象外)。必要書類など詳細は、市のホームページでご確認ください。(HP) 11877571



対象	生後6カ月～小学生(利用の前後7日以内に医療機関を受診)
助成上限	児童1人につき年間4万円
申請方法	今年度からweb申請が可能となりました 利用後6カ月以内に、にしのみやスマート申請から



問 保育幼稚園支援課 (0798・35・3044)

「資源A」の収集日が第1・2回目の水曜～金曜の地域

12月上旬が年内最終日

第1・2回目の水曜～金曜に「資源A(新聞、ダンボール、紙パック、古着)」を収集する地域の年内最終日は下表のとおりです。年末年始は生活ごみ、資源などが大変多くなるため収集時間が変わることがあります。収集日当日の午前8時までに出してください。

詳しくは市のホームページでご確認ください。

対象地域と年内最終収集日

「資源A」収集曜日		の地域は	年内最終日	
第1回目	水曜		→	12月4日
	木曜	5日		
	金曜	6日		
第2回目	水曜	→	12月11日	
	木曜		12日	
	金曜		13日	

年末年始のごみ収集日はこちら!



(HP) 33309847

※12月16日以降に「資源A」を収集する地域の年内最終日や「年末年始のごみ収集」については、本紙12月10日号に掲載します

問 美化企画課 (0798・35・8653)

12/8(日)に市内の公園・道路で清掃活動

わがまちクリーン大作戦

市民の皆さんで組織された団体や学校、事業所などが協力して、市内の公園・道路を清掃する「わがまちクリーン大作戦」が12月8日(日)に行われます。

問合せは美化企画課(0798・35・8653)へ。



不法投棄防止にご協力を!

不法投棄をなくすには、地域で協力して不法投棄を監視するなど、ごみを捨てられない環境を作ることが大切です。粗大ごみなどの不法投棄を発見した場合は、回収せず(移動させず)美化第2課(0798・41・6265)へ連絡を

新規団体は登録手続きを

ごみ再資源化に取り組む団体に奨励金

市は、地域で自主的に新聞やダンボールなどを回収し、ごみの減量と再資源化に取り組んでいる団体へ奨励金を交付しています。奨励金の交付には事前登録が必要です。希望団体は登録手続きをしてください。



対象

- 次のいずれの要件も満たす、営利を目的としない市内の地域団体
- ▷世帯数20世帯以上または構成人数20人以上
- ▷年2回以上かつ半年間に500kg以上の再生資源を回収

※今回の新規登録団体は、来年1月回収分から奨励金交付の対象

新規登録手続き受付期間 12月1日～27日(毎年6・12月に受付)

問 美化企画課 (0798・35・8653) (HP) 60139253

市制100周年記念企画

みやたと学ぶ



西宮の今昔

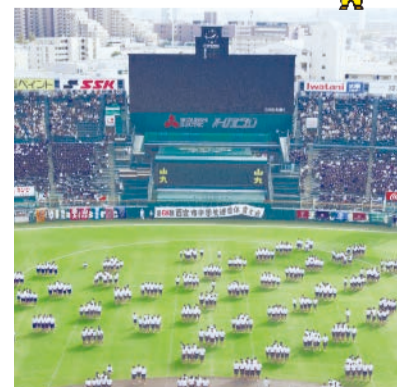
中学校連合体育大会(中連体)

中連体は、新制中学校実施5年にあたる昭和26年、鳴尾・塩瀬・山口の3村合併を機に始まりました。第1回大会は西宮北口にあった西宮第一球技場で開催されましたが、第2回大会からは当時の市体育協会会長である野田誠三氏(阪神電鉄社長)の好意により、阪神甲子園球場で行われており、宮っ子の誇りとなっています。集団美を生かした徒手体操・ダンスなどの演技や、各校の誇りを胸に走り抜けるリレーなど、演技者も応援者も心をつなげて作り出される雰囲気は、大きな感動を生んでいます。

小学6年生が参加する小連体もあるみや〜



翌年の東京五輪を盛り上げるため、5色で「五輪の花」を表現(昭和38年)



甲子園球場の広いグラウンド全面を使った圧巻の演技(令和6年)